

城里町ごみ処理施設整備計画（案） 概要版

1. 施設整備の必要性

城里町では、町内から排出されるごみの適正処理と再生利用に努めるとともに、町内のごみを処理する環境センターの適正な維持・管理を行ってきました。しかしながら環境センターは老朽化が進行するとともに、生活スタイルの変化に伴いごみの量や質が変わってきており、適切な処理の維持が困難な状況にあります。

このような状況を受け、城里町では、焼却施設及びリサイクル施設（以下、「新施設」といいます。）を新たに整備し、町内のごみ処理の安定化を図るとともに、循環型社会の形成に向けて取り組むこととしました。

2. 施設整備の基本方針

新施設は、以下の基本方針に基づき整備していきます。

1. 効果的かつ安定的なごみの適正処理及び資源化が可能な施設
2. 適切な生活環境保全対策を講じた施設
3. 省エネルギーと循環型社会構築に資する施設
4. 経済的かつ長期的な使用が可能な施設

3. 建設予定地



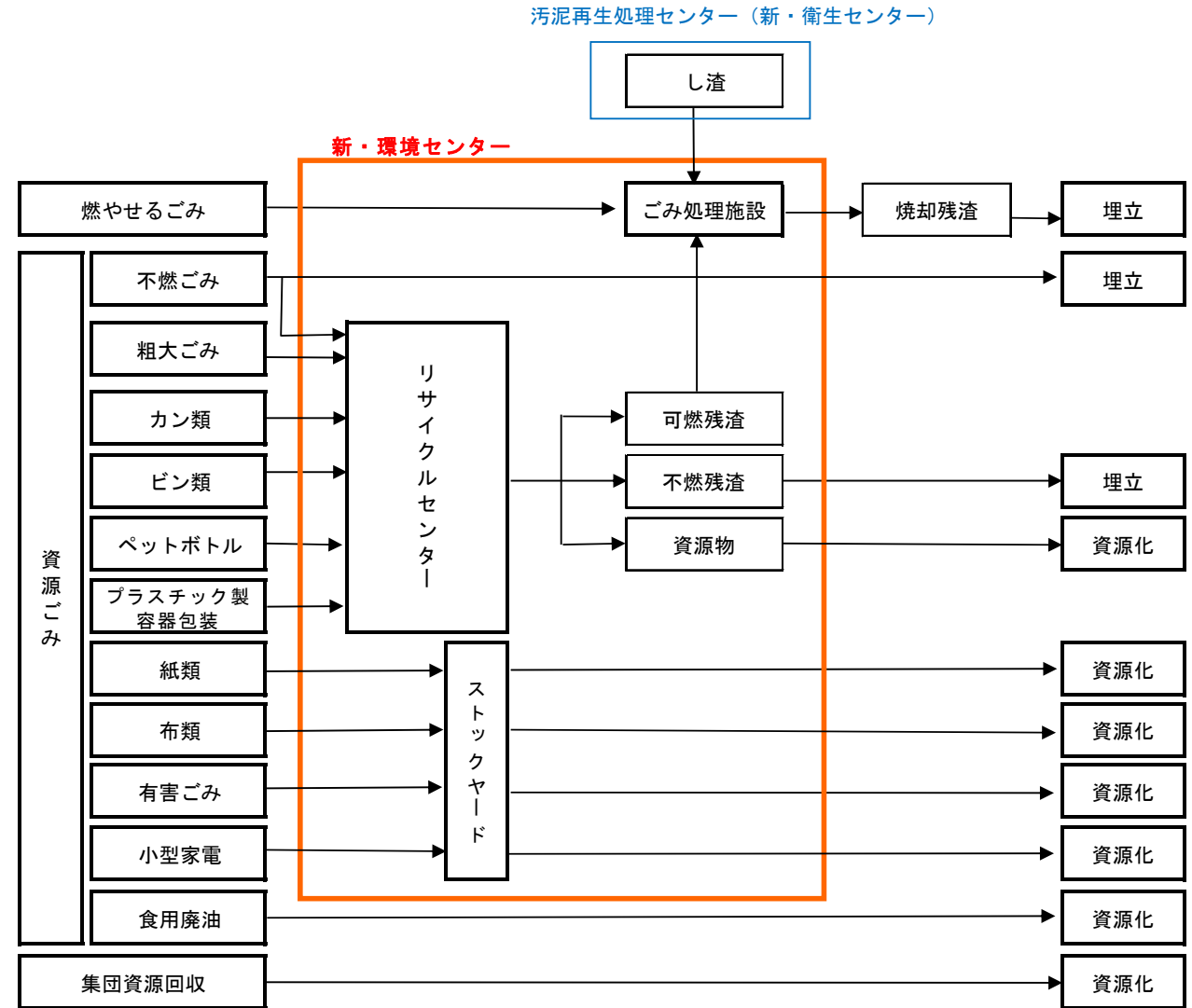
※ストックヤードは現有施設の跡地に整備予定です。

画像 ©2018 Google、地図データ ©2018 ZENRIN

4. 将来ごみ処理フロー

新施設稼働後は、城里町のごみ処理は以下のとおりの処理を行っていきます。

新たにプラスチック製容器包装と布類の分別収集を開始し、リサイクル率の向上を図ります。



5. 新施設の概要

項目	施設	ごみ処理施設	リサイクルセンター
処理方式		機械化バッチ式ストーカー炉	破碎・選別・圧縮・梱包・保管
施設概要		燃やせるごみ等を焼却処理し、発生した熱を温水等として有効利用していく施設	資源ごみから資源を回収し、有効利用を図る施設
施設規模		20 t / 12h	3 t / 5h (不燃・不燃粗大ごみ処理系列：約 1 t / 5h 容器包装ごみ処理系列：約 2 t / 5h)
処理対象ごみ		燃やせるごみ、可燃性粗大ごみ、可燃残渣	資源ごみ

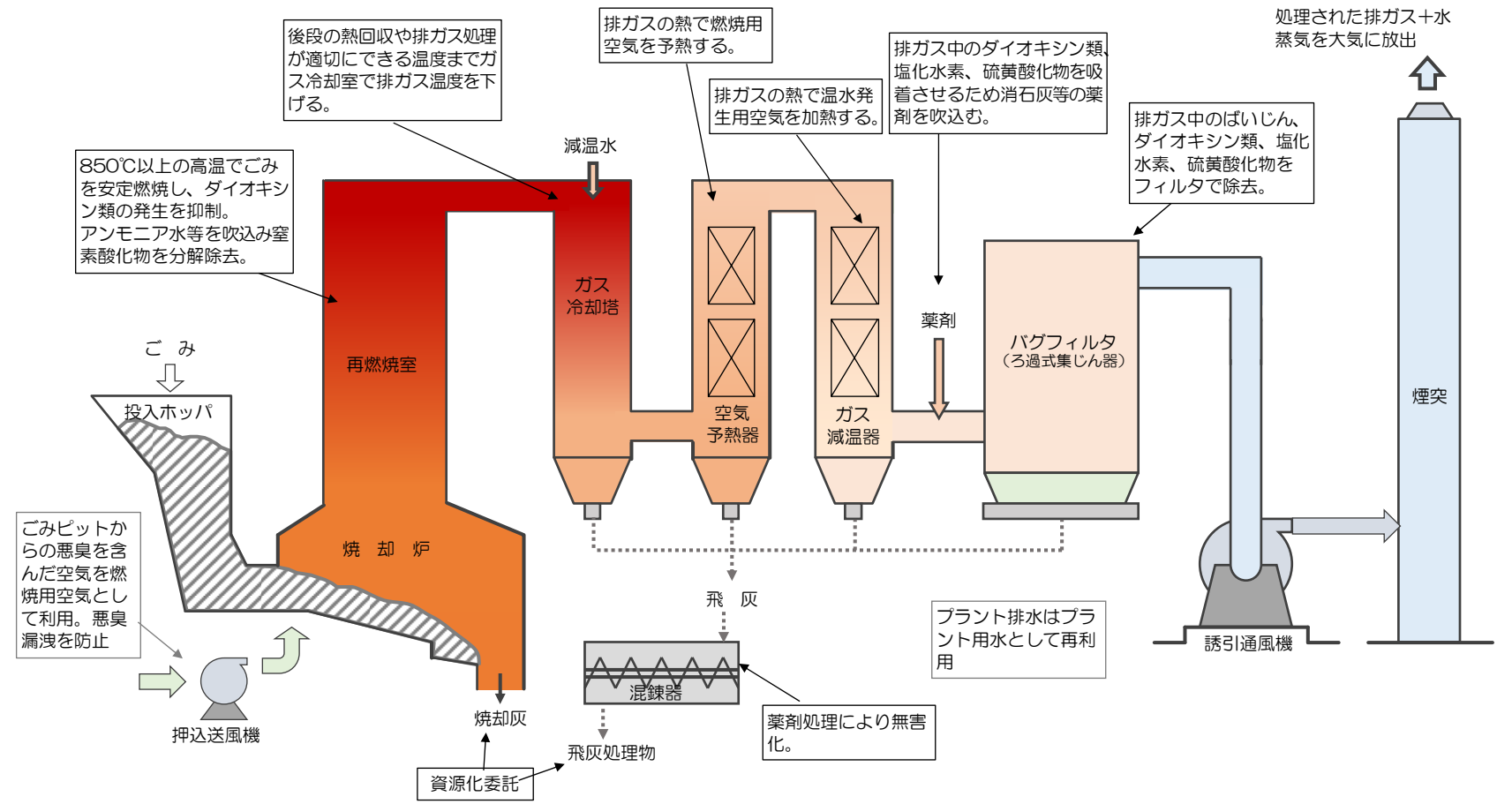
6. 環境保全対策

表 新施設の公害防止基準

項目		自主規制値	法規制値
排ガス	ばいじん	0.015g/m ³ N	0.15g/m ³ N
	硫黄酸化物	75ppm	K 値：17.5
	窒素酸化物	200ppm	250ppm
	塩化水素	80ppm	430ppm
	水銀	30 μg/m ³ N	30 μg/m ³ N
	ダイオキシン類	0.5ng-TEQ/m ³ N	10ng-TEQ/m ³ N
排水	プラント排水：場内利用により場外排水なし		
	生活排水：合併処理浄化槽にて処理後場外排水		
焼却残渣	アルキル水銀	不検知	不検知
	総水銀	0.005mg/L	0.005mg/L
	カドミウム	0.09mg/L	0.09mg/L
	鉛	0.3mg/L	0.3mg/L
	六価クロム	1.5mg/L	1.5mg/L
	ひ素	0.3mg/L	0.3mg/L
	シアン	1mg/L	1mg/L
	セレン	0.3mg/L	0.3mg/L
	1,4-ジアキサン	0.5mg/L	0.5mg/L
	ダイオキシン類	3ng-TEQ/m ³ N	3ng-TEQ/m ³ N

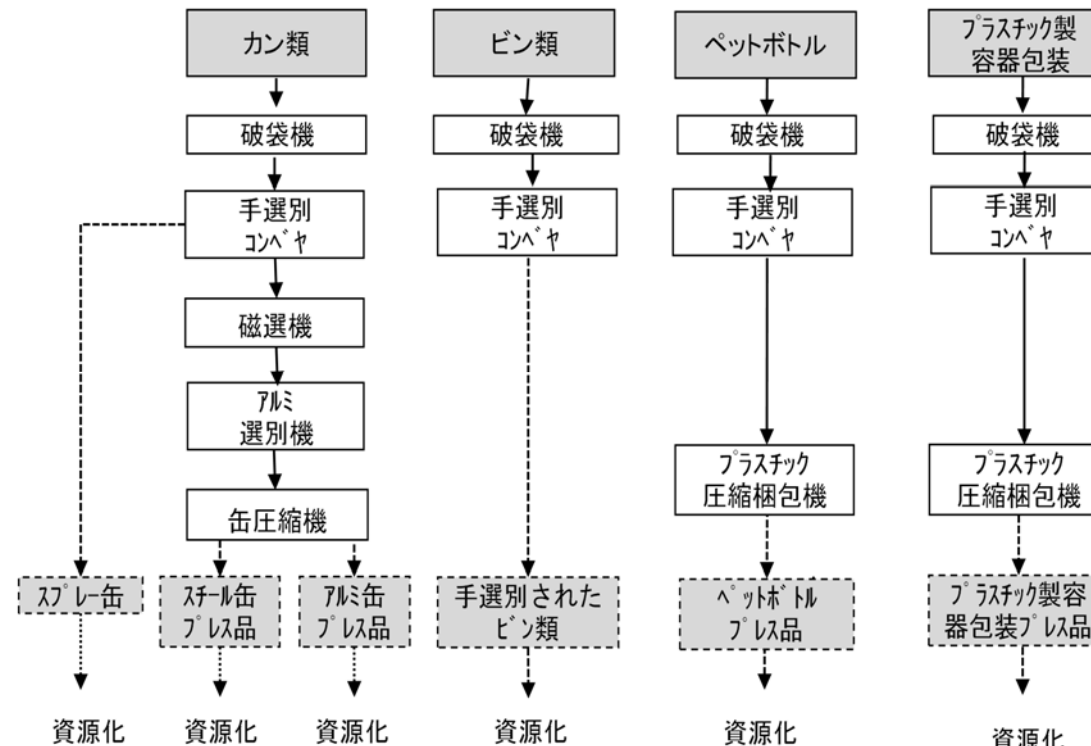
※硫黄酸化物の規制値（量）は、排出口の高さ及び大気汚染防止法施工令で地域ごとに定める定数Kの値に応じて設定されます。

7. ごみ処理施設の処理フローと環境保全対策

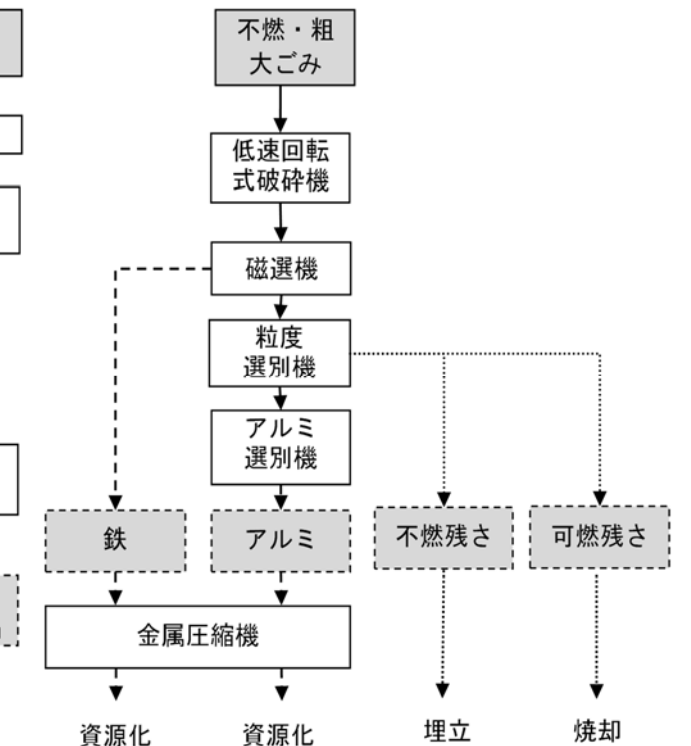


8. リサイクルセンターの処理フロー

(1) 容器包装ごみ処理系列



(2) 不燃ごみ・不燃粗大ごみ処理系列



※(1)の容器包装ごみ処理系列の各処理過程で発生した可燃残さはごみ処理施設にて焼却処理、不燃残さは埋立処分されます。

※上記フローは現時点での案です。

9. 新施設整備スケジュール

項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
建設工事業者選定手続き	■				
敷地造成工事		■			
ごみ処理施設リサイクルセンター建設工事		■	■	■	
現有施設解体ストックヤード建設工事				■	■